

経営比較分析表（平成30年度決算）

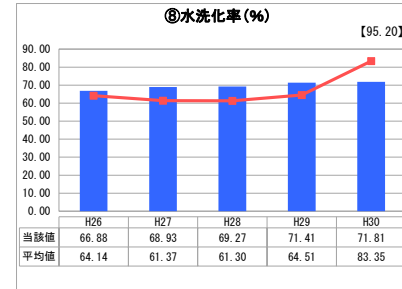
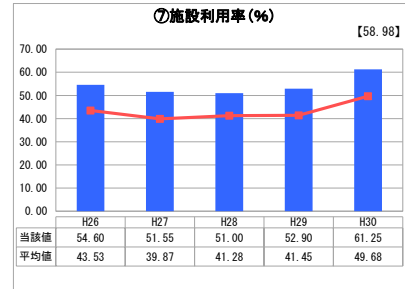
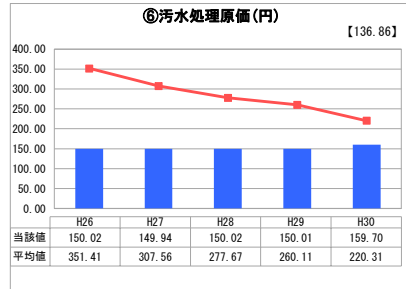
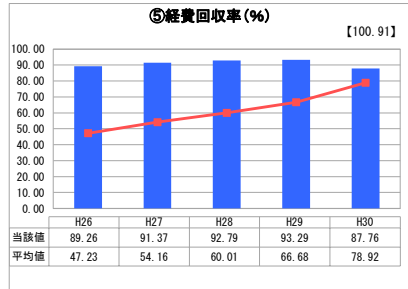
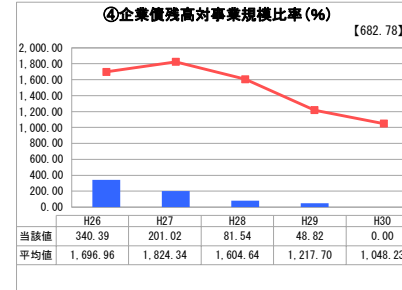
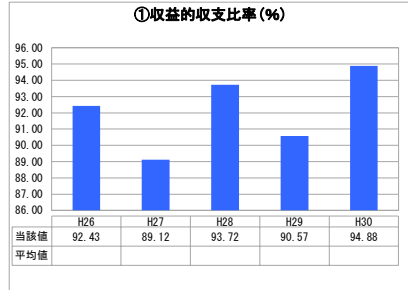
宮城県 川南町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	21.90	75.56	2,700

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,780	90.12	175.10
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,448	1.82	1,894.51

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、100%を下回っており、経営の健全性が確保されているとはいえません。コスト削減や水洗化推進による使用料収入増などの経営改善を図る必要があります。

④企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均値を下回っています。H22年度で整備が完了し、これ以降起債がないことが要因と思われます。

⑤経費回収率は、類似団体平均値を上回っていますが100%を下回っており、汚水処理に係る費用が使用料以外の収入により賄われていることを意味し、健全性が確保されているとはいえません。①同様、コスト削減や使用料収入増など経営改善を図る必要があります。

⑥汚水処理原価は、150円/㎡台で推移しています。類似団体平均値を下回り、効率的な汚水処理が行われています。

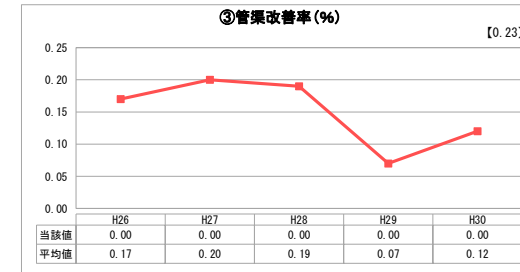
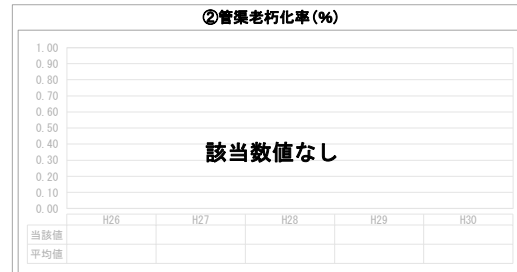
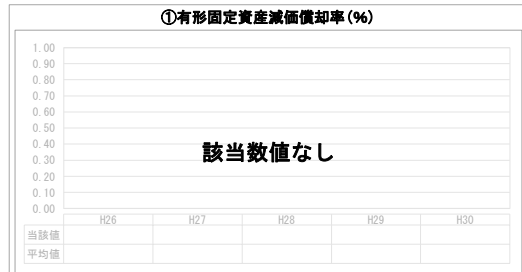
⑦施設利用率は、水洗化率向上に伴い類似団体平均値を上回っていますが、まだ余裕がある状況であることから経営の効率性については、改善する必要があります。

⑧水洗化率は、毎年微増はしていますが、まだ、70%台とあまり高くはないので更なる水洗化を推進する必要があります。

2. 老朽化の状況について

供用開始から15年が経過し、管渠等大きな問題となるような老朽化はありませんが、今後、更新時期を迎えることから平成29年度策定した川南町下水道ストックマネジメント計画を基に更新工事を実施していきます。

2. 老朽化の状況



全体総括

施設自体比較的新しいため汚水処理については、類似団体平均と比較して低コストで行えています。水洗化率は、まだ高いとはいえ、汚水処理経費を使用料以外の収入に依存している状況にあります。令和元～4年度にかけて公営企業会計の法適化に向けて取り組み資産状況の把握に努めます。

今後、川南町下水道ストックマネジメント計画と平成30年度に策定した経営戦略を基に適切な事業運営に努め、公営企業会計の適用後は、適正な利用水準について検討する必要があります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。